

## <セカンドオピニオン契約のお客様の声>

会社名:株式会社益田クッキングフーズ  
事業内容:弁当・仕出し料理の製造販売・  
配達、学校給食、レストラン経営  
社員数:180名(R2年12月末時点)



内谷重信 社長

Q. あんの会計とのお付き合いはいつからですか？

知り合いの経営者からの紹介で、あんの会計主催の講演会には過去に何度か参加させてもらっていました。その頃はまだ、安野社長とほとんど話したことはありませんでしたが、その後、出張先で偶然出会ってお話する機会が何度かあり、今では、「会うべくして会った」と思っています。

Q. あんの会計の印象はいかがですか？

安野社長と親しくなる以前は、「スピード感を持ってアグレッシブに動く、若いやり手の社長がいる」という噂を聞き、「数字について厳しく指摘する怖い人」というイメージでしたが、今は、ただ単に仕事をこなすのではなく、地域のため、社員のためという想いを持った、人間味や温かさを感じています。自分のためだけに経営をしているのではないというのは、(あんの会計の)経営計画書にも表れていると思いました。安野社長は、見た目は柔らかいけれど、中身はかなり強烈なキャラだと思っています(笑)。

Q. セカンドオピニオン契約をご依頼いただいた理由を教えてください。

経営者としての勉強をしたいと思ったのがきっかけです。未来から数字を決めるというのは、いままでに聞いたことがありませんでした。今までの自分たちに一番不足していたと感じます。また、あんの会計の考え方を取り入れることで、すべての活動が社員やお客様の幸せにつながり、会社により循環を生み出せると思えました。

Q. 実際に「あんの式月次決算書」の説明を受けて、どんな感想をお持ちですか？

「数字が面白い」と思いました。分かりやすい図を基に説明してもらうことで、幹部の人たちも面白いと言ってくれています。全く数字に興味が無かった幹部が数字に興味を持つというのは、いままでにない凄いことです。社長としては、何よりもそのことを喜んでいます。会社がよくなっていくというワクワク感がありますね。また、毎月を「決算」として考える発想はいままでにありませんでした。逆に言えば、季節変動を言い訳にできなくなります。そうすることで、売り上げをつくるためにどうすればいいのか、そのための戦略や戦術をどうするのかを、真剣に考えるようになります。

Q. 最後に、あんの会計にひと言お願いします。

社長の私が最も望むのは、社員のご家族から、「あの会社で働けてよかったね」と言ってもらえる会社にすることです。そのためがいい会社づくりを、一緒に歩んでもらいたいと思っています。